

看護学科

3年

科目名: 看護研究Ⅲ(事例研究)				担当教員氏名: 荒木晴美、河相てる美、矢野恵子、今川孝枝、高田亮子、小倉之子、中田智子、古里直子、北山由起子、稲垣尚恵 他	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	3年次 前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 各領域での実務経験を活かし、各実習での活動事例をまとめ事例研究として報告できるように教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
看護実践の場での看護展開や学びの実践活動事例をまとめ、学内で事例研究として報告する。まとめる過程で、看護実践と理論との比較や検討を行い実践における理論の活用について学ぶ。また、看護実践を言葉にして他者に伝えることを体験し、その必要性について学ぶ。				看護実践、事例の問題解決、理論と実践の統合、論文の書き方、発表能力	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7.	
A 知識・理解力	看護実践の問題を見つけることができる				
C 論理的思考力	理論と実践の統合を目指し思考を深める				
D 問題解決力	看護実践の中の問題に関する解決策を考える				
E 自己管理能力	看護実践を研究論文としてまとめることができる				
H コミュニケーション力	看護実践を言葉にし他者に伝えることができる				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: %	発表: 50 %	実技試験: %	その他: 50 % (授業への参加態度や発言)	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> 、 <u>レポート</u> 、 <u>グループワーク</u> 、 <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 以下により総合的に評価する。 ※グループワーク参加状況 ※事例研究報告書 ※プレゼンテーション					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
令和2年4月 日()~4月 日()【受け持ち事例を個人でまとめる】					
令和2年4月 日()~4月 日()発表事例を決めるグループでまとめる					
令和2年4月 日()~ 日()プレゼンテーションの準備					
令和2年 月 日()プレゼンテーション(口演)					
令和2年 月 日()~5月1日(金)まとめ					
使用テキスト: 研究Ⅰで使用のテキスト			その他参考文献など: 看護理論に関するものなど適宜参考にする		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ○担当教員との連絡を密接に行い、積極的に指導をうけること					